

令和元年度 第1回技術研修会のご案内

日 時	令和元年7月3日(水) 13:30～16:30
会 場	アバンセホール(佐賀県立生涯学習センター) (佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011)
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
テ ー マ	「佐賀における低平地研究の最前線」
研修項目	(1) 13:40～15:00

「低平地における深層混合処理工法の調査・設計・施工に関する最近の国内外の取組」

佐賀大学教育研究院自然科学域理工学系(都市工学部門)
教授 日野 剛徳 氏

高潮位変動環境下の低平地で建設が進められている有明海沿岸道路(佐賀福富道路)・芦刈南ICの被災は記憶に新しく、復旧に関する技術的整理もついた。関係者はその間、これまでの軟弱地盤対策工法に関する知見を検証し、今回の被災によって得られた深層混合処理工法に関する新たな知見を今後の調査・設計・施工に反映することになっている。

本講演では;1)芦刈南ICの災害復旧に関する最終報告;2)深層混合処理工法の適用における地下水モニタリングの動向;3)地盤改良工法における促進養生法の適用;4)海外における佐賀発の深層混合処理工法の展開、について述べる。

(2) 15:10～16:30

「低平地の水環境～クリークの変遷と新たな活用～」

佐賀大学教育研究院自然科学域理工学系(都市工学部門)
講師 三島 悠一郎 氏

広い範囲にわたって複雑に張り巡らされたクリーク網は、佐賀平野の代表的な生産活動である農業にとっては欠かせない存在である。このクリーク網が形成する佐賀低平地は、「トンボ王国」とも称される自然環境を育み、野鳥の休息地となるなど、佐賀低平地における生活や農業にも密接に関連している。

本講演では、人口減少問題や気候変動に直面するであろう将来に向けて、クリークを中心とした佐賀低平地の水環境を維持管理していくためにも、その成り立ちやこれからどのように活用していくのかについて、話題を提供する。

対象者	地方公共団体等職員、建設事業関係者、一般の方(大学生以上)
定 員	300名
参加料	無 料
申込方法	当機構のホームページ(https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html)よりお申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。 『研修情報』→『技術研修会』→『令和元年度第1回技術研修会申込』をクリック!

申込期間	令和元年6月10日(月)14:00～令和元年6月21日(金)17:00 (定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施。) 令和元年6月24日(月)14:00～令和元年6月26日(水)17:00 予定
------	--

問合せ先	(公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-26-1668
------	---

その他 車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会のCPDSプログラムに申請しています。